第116号 2023年6月

発行所 〒802-8651

北九州市小倉北区紺屋町13-1 (公財)毎日新聞西部社会事業団

発 行 人 瀬尾 健悟

電話 093-551-6675 ファクス 093-541-8009

E-mail:s-maiswf@cotton.ocn.ne.jp

郵便振替 01770-2-40213 URL http://www.mainichiseibu-shakaijigyo.biz/

たもた模ス業 すシ者援 。増もや感は一るリ教す せ金 てはま 定業承決、時回にいる報認算22評通入で 9全で歳 とでれ関度員理た新 0の末 万種助 一はたすの会事5 る事を会月度 円類け がを合い 計業開▽8 算報き30目23 せわ募 書告 | 日に年



てた0産動げ約度年ら 別 22 説 | 万のをが1末末れ 項年 明 | 円経行あ4やの を度 しとの常つつ8期3チ ◇た計マ増たた0間会ャ ◇。算イ減結。万外場リ 参の 照各 書ナ額果こ円も加えた。 事 業 類スは ラルー えん しん これ に 約正し売 りせ、展 D 内 つな2味たりせ 容 いつ6財活上て年は

の6事年日 内1業度 `毎 容0計第北日 で0画2九新 行万を回州聞 う円審通市西 こ規議常小部 と模し理倉社 た事予開毎団 業算催日は には、西2 つ前23部0い年年会2 て度度館3 はをの会等 3 年回算室月

理事会 度予算を承 事業は例年並み 認 並る案で8

◆小児がん征圧事業――32団体に◆

平成8 (1996) 年から展開している毎日新聞と毎日新聞 社会事業団のキャンペーン「生きる――小児がんの子ども たちとともに」と連動した募金。当年度は、東京、大阪と 合わせ全国で32団体に、1325万円を配分。第27次までの 贈呈総額は4億1155万円となった。

募金の配分団体は以下の通り。

にこスマ九州▽九大病院小児医療センター親の会・すま いる▽九州がんセンター小児科親の会・大きな木▽久留米 大病院小児科血液グループ親の会・木曜会▽コメディカル クラウン▽長崎ペンギンの会▽宮崎ひまわりキャンプ▽ レモネードスタンドinふくおか実行委員会

【東京・大阪管内】

がんの子どもを守る会(含むスマートムンストン)▽難 病のこども支援全国ネットワーク▽公益信託日本白血病研 究基金▽ファミリーハウス▽スマイルオブキッズ▽メイク ・ア・ウィッシュ オブ ジャパン▽そらぷちキッズキャ ンプ▽小児脳腫瘍の会▽アジア・チャイルドケア・リーグ ▽パンダハウスを育てる会▽ゴールドリボン・ネットワー ク▽あいち骨髄バンクを支援する会▽ぷくぷくばるーん▽ 京都大学医学部附属病院小児科ボランティアグループ「に こにこトマト」

京都ファミリーハウス▽近畿小児血液・がん研究会▽し ぶたね▽守口ぶどうのいえ▽日本クリニクラウン協会▽こ どものホスピスプロジェクト TSURUMIこどもホス ピス▽チャイルド・ケモ・サポート基金▽名古屋小児がん 基金▽三重大学病院小児科父母の会・ひだまり▽京都・が んと生殖医療ネットワーク

32団体 1325万円

◆海外難民救援事業--22団体へ◆

み約や22

毎日新聞社会事業団が、毎日新聞紙面との連動で1979(昭 和54)年から「飢餓・貧困・難民救済キャンペーン」として 始めた海外難民救援事業は、2022年度で44年目を迎え、新 型コロナウイルスの影響で中断していた海外取材を再開。ロ シアのウクライナ侵攻で、戦火を逃れ隣国のポーラ

ンドやモルドバに避難した人々の様子や思いを取材チームが 報告。前年度末から6月にかけて2回にわたり「ウクライナ 侵攻」「離散―モルドバ報告」として紙面化した。

新聞紙面で避難民の様子を知った多くの読者から、他の地 域の難民支援と合わせて浄財が寄せられた。西部社会事業団 は東京、大阪両事業団とともに、国際機関の日本ユニセフ協 会や国連UNHCR協会、「ペシャワール会」「ロシナンテス」 をはじめとするNGOなど22団体に総額4230万円を届けた。 キャンペーン当初からの救援金の総額は17億718万8344円 になった。

救援金の配分先は以下の通り。

【西部管内】

ペシャワール会▽ロシナンテス▽国連UNHCR協会(ウクライ ナ支援) ▽難民を助ける会(同)

【東京・大阪管内】

国連UNHCR協会▽国連世界食糧計画WFP協会▽日本ユニセフ 協会▽国境なき医師団日本▽日本国際ボランティアセンター (JVC) ▽難民を助ける会▽シェア=国際保健協力市民の 会▽AMDA▽シャンティ国際ボランティア会▽

ワールド・ビジョン・ジャパン▽難民支援協会▽緑のサヘル ▽バーンロムサイジャパン▽UNDP(国連開発計画) ▽TMAT▽ Community Life▽アフガニスタン女性支援プロジェクト EJAAD JAPAN▽STAND ALIVE▽ネパール・ヨードを支える会▽ アジア子ども基金

22団体 4230万円

ム度舎0援20童ム福 要イ弁ンは年にとを生護施 8 す歳養 岡青しザ護ラ9は実し通を施設筑合事塾にいる の度は3の人による無事業金」による無事業を支援「14年の社会の大きなが、市民の主要を選集を受けている。 「14年の大きない。 「14年の大きない。」 「14年の大きない。 「14年の大きない。」 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。」 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。」 「14年の大きない。」 「14年の大きない。 「14年の大きない。」 「14年の大きない。 「14年の大きない。」 「14年の大きない。 「14年の大きない。」 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。」 「14年の大きない。 「14年の大きない。 「14年の大きない。」 「14

「80歳からの合唱団北九 州」運営費助成 「80歳からの合唱団北九 らの合唱団北九州」は、 いができる③歌うことで にも出演して生きる楽しみをつ のはいるで生きる楽しみをつ のはいるできる。要にとが、 がはなかり、現在している。 を区でのクリスマスの催 各区でのクリスマスの催 遺 寄 。ど回はつ唱とでが延①か九

をめ困葉近かルサケ老に 助せる社をン 成る。会通ポ 援た何一親始ホ事やの 活ちらを戚、 - な軽た動のか合よ94ムど度め した活のしジ ため動構てウ たの言り年へをのに

♦災害被災者救援事業♦

国内各地で広域ににわたる大規模な被害が なかったため、募金の呼びかけはしなかった。 しかし、2月になってトルコ南部でマグニチ:うち名義後援は3件だった。 ュード7.8の地震が発生。隣国のシリアと共 に大きな被害を受け、両国の犠牲者は5万人 を超え、1万人以上の犠牲者が出た世界の災 害は、年の東日本大震災以来となった。

東京・大阪の両事業団と共に救援金を呼び : 回「わたぼうし音楽祭」▽日本ふうせんバ かけ、多くの浄財が寄せられた。この中から、 当事業団は現地で支援活動にあたる2団体に : 校体育・文化連盟大会 150 万円を寄託、残金は23 年度に繰り越した 西部社会事業団への救援金・奨学金は以下 : 回北九州市障害者ボウリング大会▽第42 の機関・団体に配分、贈呈した。

【トルコ・シリア地震救援金】難民を助ける会: へ 100 万円▽国境なき医師団へ 50 万円【東目: 自由児・者の美術展▽第 33 回全国ふうせ 本大震災被災者救援金】福島県災害対策本部 : んバレーボール大会。 へ 50 万円【毎日希望奨学金】大阪社会事業団 へ 400 万円【九州豪雨災害救援金】熊本県人 吉市へ 51 万 2913 円

た。資金不足で厳しい状態 が続き、今期も「母の日・シ なの日募金」を財源に助 父の日募金」を財源に助 父の日募金」を財源に助 父の日募金」を財源に助 と一般である毎日新聞社の関連会社 毎日小学生新聞」「NE 田地区にある児重養施 である毎日新聞を回勤。 が1末「NEWSがわかる」無料な届け め、「毎日小学生新聞」と月 め、「毎日小学生新聞」と月 め、「毎日小学生新聞」と月 が、「毎日小学生新聞」と月 が、「毎日小学生新聞」と月 が、「毎日小学生新聞」と月 が、「毎日小学生新聞」と月 が、「毎日小学生新聞」と月 が、「毎日小学生新聞」と月 が、「毎日小学生新聞」と月 のた。各施設が「希望する」と 回答。合計で「毎日小学生 W

しるか

た。んカにかし ツュ年象を・贈定校ど肢、募主プ新

奨付め給財廣P料 学型たすを・O学

は 5 巻待

助

事環

か社

た会

のた

祉事業

看協会ちを護床期めに口従 護会へ越配協使も前よナ事 協へ40し分会用継々あった。 会30万た。残へ率続。

◆障害者福祉事業◆

助成・援助の事業件数としては最も多く、 今期は新規1件、継続事業12件で計13件。

気軽にサポートプロジェクト▽「声の点 字毎日 | 発行▽第90回全国盲学校弁論大 会▽第6回盲学校フロアバレー大会▽第47 レーボール協会運営費助成▽九州地区聾学

第33回北九州市障害者水泳大会▽第41 回「出発を励ます集い」

◇名義後援事業◇

第 59 回点字毎日文化賞▽第 41 回肢体不



◆福祉団体助成事業◆

今期は、前年度と同じ12 団体に助成金を贈った。い ずれも継続事業で、前年度 並みの助成をした。

あしなが育英会へ助成▽ 福岡、北九州、佐賀、大分 の「いのちの電話」へ助成 金▽「福岡盲ろう者友の会」 活動費助成▽ホームレス支 援のNPO法人抱樸に助成 金▽山口県共同募金会▽福 岡県交通遺児を支える会▽ 九州盲導犬協会▽北九州あ ゆみの会▽北九州市障害福 祉ボランティア協会



編集後記 ◆新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが変わり、社会もようやく動きだしました。 業団が助成・支援した2022年度事業は、前年度より9件増え、その流れが感じられます◆ただし、ウイルスが消滅してし まったわけではなく、用心のためか、マスク着用の皆さんを多く見かけます。また、23年は例年より早く梅雨入りしまし た。大きな揺れの地震も相次ぎ、何かしら心配です。こちらも万が一への備えを怠らないようにしたいと思います。